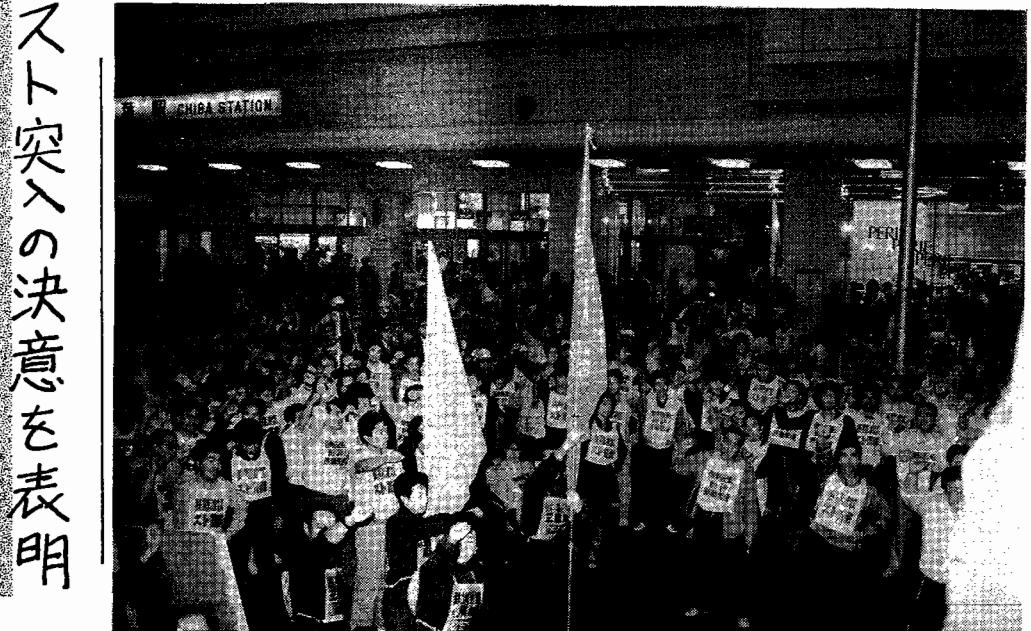


国鉄「分割・民営化」反対！三里塚二期工事阻止！

# 5・18千葉駅スト大勝利



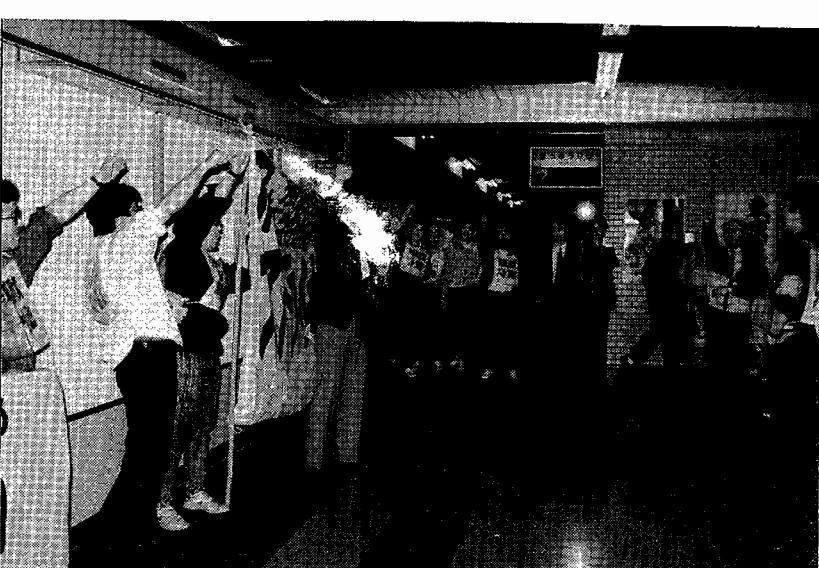
スト突入の決意を表明  
十八時半、千葉駅「なのはな五号店」で、長田君が、あらゆる弾圧をはねのけ、堂々と力強くストに突入。売店を閉店に追込む。大声援に応えて彼は「デタラメな配転に怒りを感じる。この様な攻撃が病むまで私は最先頭でたたかう」と決意を表明した。



スト圧殺を粉碎し駅頭宣伝からとろ！次は鬼戸だ！

十八時半、千葉駅「なのはな五号店」で、長田君が、あらゆる弾圧をはねのけ、堂々と力強くストに突入。売店を閉店に追込む。大声援に応えて彼は「デタラメな配転に怒りを感じる。この様な攻撃が病むまで私は最先頭でたたかう」と決意を表明した。

百メートル先に機動隊、駅には職制らを配置してスト圧殺を狙う権力・当局も、われわれの怒りの結集を前に一步も介入はできない。多くの支援と連帯、市民へのアピールを受け、ついに五・一ハストは意氣高く貫徹された。



シャッターを閉じた売店「なのはな」の前でガバロウ

265名の結集で  
千葉駅前大街宣

「分割・民営化」から一年、JR当局の不当極まりない攻撃に対し、動労千葉七五〇の共通の怒りが火をあげた。労働者として、そして労働者なら当然のたたかいに起ちあがつた。全組合員はストの旗のもとに総團結した。いよいよ反撃の開始だ。

一八日夕刻の千葉駅前は動輪旗が林立し、横断幕がはためいた。街宣が始まり、ビラが手渡される。乗客の命と、労働者の命を無視するJR当局・鉄道労連の結託を暴露、弾劾する。

日刊  
動労千葉

1988.5.20  
No.2819

千葉市要町二一八（動力車会館）  
(鉄電)二九三五六・(公衆)〇四七二二二七〇七

国鉄千葉動力車労働組合

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！